



✓ 公立学校共済組合佐賀支部

1 | ライフプラン推進事業の目的

(1)生活充実型講演会

職員が、人生を健康で心豊かに過ごすための生涯にわたる総合的な生活設計を確立し、在職中の早い時期からその準備をすることができるように、各年代別に必要な知識、情報を提供し、その実現を支援する。

(2)退職準備型講演会

職員が、退職を境に生じるさまざまな変化に対処し、退職後の人生を豊かで充実したものとするために必要な知識、情報および相互啓発の機会を提供し、職員自らの生涯生活設計の確立とその実現を支援する。

2 | セミナーの実施内容 (プログラム等)

(1)生活充実型講演会

開催日：令和元年8月28日（豪雨のため中止）
会場：公立学校共済組合佐賀宿泊所
「グランデはがくれ」
参加人数：62人
対象者：組合員等およびその配偶者
日程：
8:30～ 9:10 受付
9:10～ 9:20 開会、事務連絡
9:20～ 11:35 公務員のためのライフプラン
（講師：ファイナンシャルプランナー）
11:35～ 11:50 休憩
11:50～ 13:30 テーブルマナー講座
（講師：グランデはがくれスタッフ）
13:30～ 14:00 休憩
14:00～ 16:00 教職員のストレス軽減アロマセラピー
（講師：アロマセラピースクール代表）
16:00～ 閉会

(2)退職準備型講演会

開催日・会場：令和元年8月7日・グランデはがくれ
令和元年8月23日・ゆめぶらっと小城
令和元年10月2日・グランデはがくれ
参加人数：合計415人
対象者：50歳以上の組合員等およびその配偶者
日程：(3日間共通)
9:00～ 9:50 受付
9:50～ 10:00 開会、事務連絡
10:00～ 10:45 退職後の医療制度について
（講師：公立学校共済組合佐賀支部 給付課長）
10:45～ 11:00 休憩
11:00～ 11:30 退職互助部制度について
（講師：佐賀県教職員互助会 職員）
11:30～ 13:00 昼食休憩
13:00～ 13:50 呼吸法と簡単なストレッチ
（講師：ヨガインストラクター）
13:50～ 14:05 休憩
14:05～ 16:35 マネープランセミナー 年金など
退職後のお金に関する基本情報等
（講師：ファイナンシャルプランナー）
16:35～ 閉会

3 | 工夫している点

(1)生活充実型講演会

幅広い年齢層が参加されるため、ライフプラン講座では生涯を通じた資産形成や家計の見直し等を中心に講演します。また、公立学校共済組合佐賀宿泊所グランデはがくれのスタッフによるテーブルマナー講座は、実際にグランデはがくれが提供する洋食のコース料理を食べながら食事マナーについて学びます。令和元年度は残念ながら、令和元年佐賀豪雨の影響で中止となりましたが、参加予定だった皆さんには後日、講演資料、記入して郵送することで各個人の家計診断が送付される「家計診断書作成サービス」の提供や、アロマハンドオイル等を

公立学校共済組合佐賀支部では、

佐賀県教育委員会および一般財団法人佐賀県教職員互助会との共催で、

2種類のライフプラン推進事業を開催しています。



送付しました。

(2)退職準備型講演会

50歳以上を対象とし、年度末の退職予定者は、夏休み期間を中心とした全3回のうち、参加可能な日程に原則参加してもらうようお願いしています。参加者は、医療制度の検討や年金の受け取り方など、間近に迫った問題について他講演会に比べて多くの質問をされます。そのため、当日の日程は休憩時間を長めに設定しており、休憩時間は質問タイムを兼ねています。午後の講演には体を動かすヨガでリフレッシュしてもらい、その後のお金の話へと移行する流れになっています。全3回を同一内容で実施するため、第1回目のアンケート結果を第2回目改善し、よりよい事業につなげています。参加された方には各個人の「特別支給の老齢厚生年金試算額」や「教職員の退職準備ガイドブック」等を配付しています。

4 | 参加者の反応

退職準備型講演会のアンケートでは、約9割の人から参考になったとの回答を頂きました。「現実の厳しさを感じて、ため息が出ます。具体的に話をさせていただいてよく分かりました」「かなりショックでした。学ぶことが多すぎます」「今後の生活については、夫婦間で話題にしておりますが、今回、配偶者として参加させていただき、より具体的に現実的に考えるきっかけとなりました」等の意見がありました。意見として、「退職準備型講演会は退職の年に参加するものだと思っていた。もっと早く動くべきだった。」「定年前だった事もあり、真剣に聞いたのかもしれないが、定年より5年程前に聞き、知っていたら更によかった。」というような、5年前、10年前か

ら退職を見据えた動き出しをしておけばよかったという後悔の声が多く寄せられました。また、午後に実施したヨガ教室も好評で、「退職後の健康づくりとして本格的に始めてみたい。」との声もありました。

5 | 今後の課題

「若いうちから知っておけば」との意見が退職間際の方からは多く聞かれます。新規採用職員向け、年代別、任用区分に応じたライフプラン等、検討すべき範囲が広がってきています。早い時期に、一度はライフプラン講座を受講することが必要ですが、教職員の厳しい勤務実態を踏まえ、働き方改革が推進される教育現場では、終日行うライフプラン事業の開催も難しくなっています。今後は、より短時間で効果的なライフプラン推進事業が必要です。アンケートの意見を踏まえ、ニーズを捉え、参加者が選択できるように事業の幅を持ち、教職員の日々の生活の質や教職人生、退職後の人生を豊かにするサポートをめざしていきます。



(公立学校共済組合佐賀支部 福利課 秋吉 洋輔)